



**2019年3月期  
第2四半期  
決算説明会**

2018年11月12日

**TOWA株式会社**

## 本日の主な説明内容

1. 2019年3月期 上期実績
2. 2019年3月期 通期見込
3. 2019年3月期 下期取組み

# 本日の主な説明内容

- 1. 2019年3月期 上期実績**
2. 2019年3月期 通期見込
3. 2019年3月期 下期取組み

# 2019年3月期 第2四半期 連結業績結果（前年比）

（単位：億円）

	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q実績	増減額	前年比
売上高	156.0	152.9	▲ 3.1	▲ 2.0%
営業利益	24.9	8.7	▲ 16.2	▲ 64.9%
経常利益	24.7	9.5	▲ 15.2	▲ 61.4%
当期純利益	16.5	8.8	▲ 7.7	▲ 46.8%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2019年 3月期 2Qサマリー

## 受注・売上

- NAND型フラッシュメモリーの価格下落にともないメモリーメーカーの設備投資が停滞
- 仮想通貨向け半導体需要の急減によりOSAT各社の設備が過剰状態になり投資を抑制
- 米中貿易戦争により主要な地域で設備投資に慎重な姿勢が現れる



**市場環境に減速感と不透明感が生じている**

# 2019年 3月期 2Qサマリー

## 利益

- メモリーメーカーの生産調整やスマートフォン需要の減速にともない付加価値の高い製品の構成比が減少
- 中国地域において金型を戦略価格で販売
- 一部顧客の特殊仕様対応のための費用増



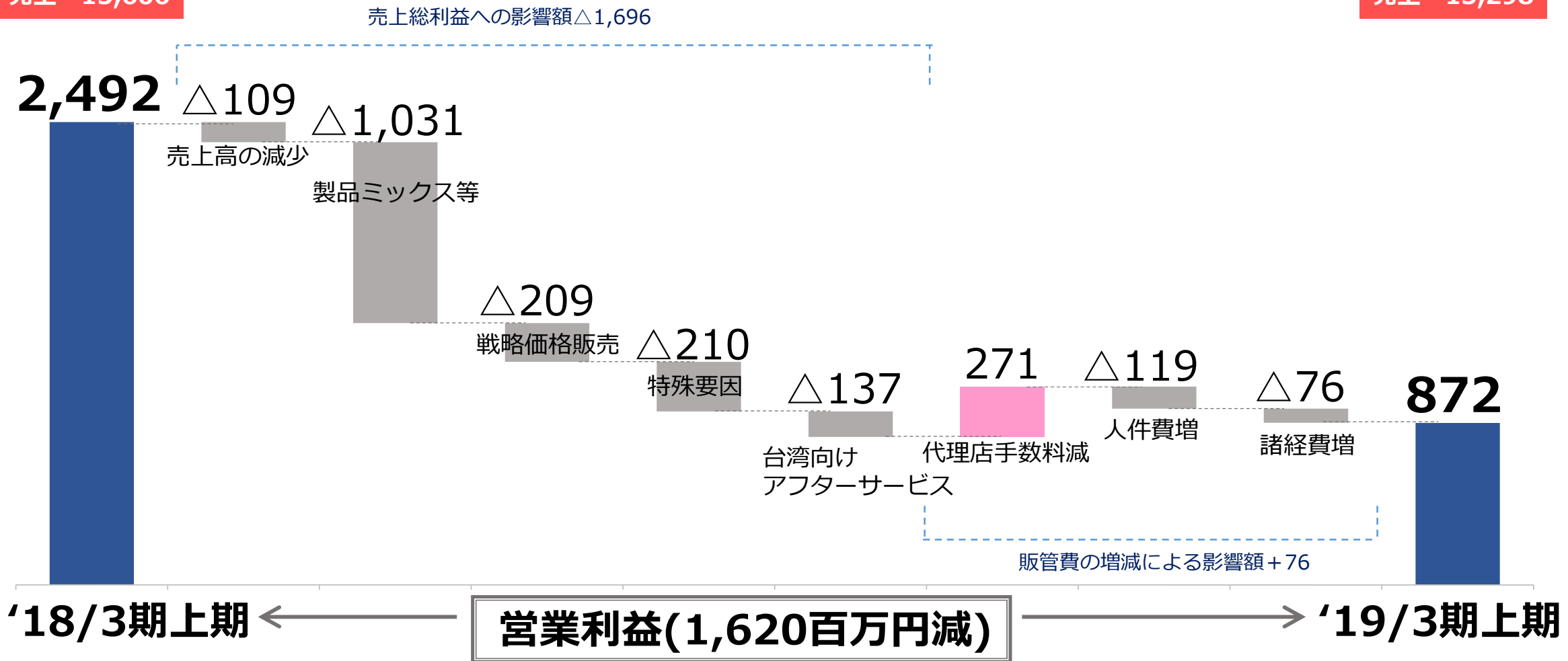
**市場環境と特殊要因等の一時的な費用増が重なり利益率が低下**

# 2019年3月期上期 連結営業利益 増減要因分析（対前年同期）

（単位：百万円）

売上 15,606

売上 15,298



# 2019年3月期 第2四半期 連結業績結果（計画比）

（単位：億円）

	2Q計画	2Q実績	増減額	前年比
売上高	167.0	152.9	▲ 14.1	▲ 8.4%
営業利益	20.0	8.7	▲ 11.3	▲ 56.5%
経常利益	20.0	9.5	▲ 10.5	▲ 52.5%
当期純利益	14.5	8.8	▲ 5.7	▲ 39.3%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益



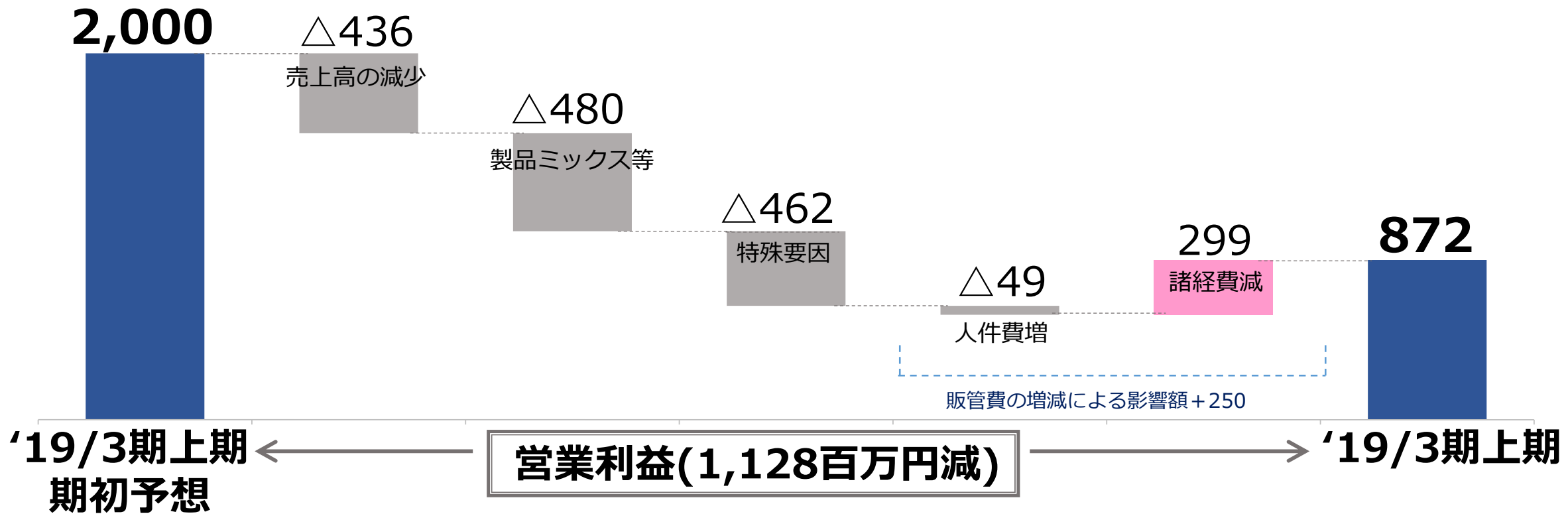
# 2019年3月期上期 連結営業利益 増減要因分析 (対予想)

(単位：百万円)

売上 16,700

売上 15,298

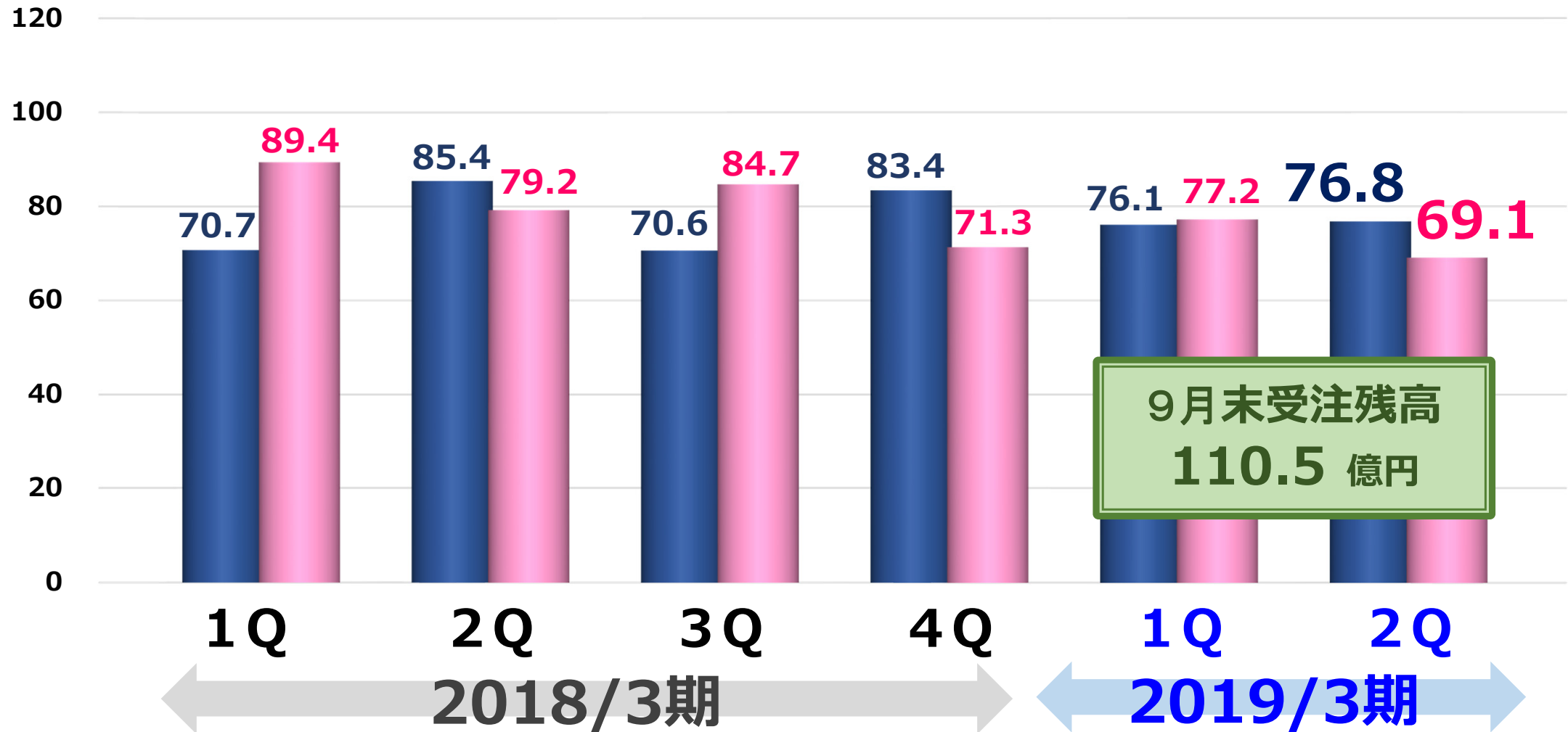
売上総利益への影響額△1,378



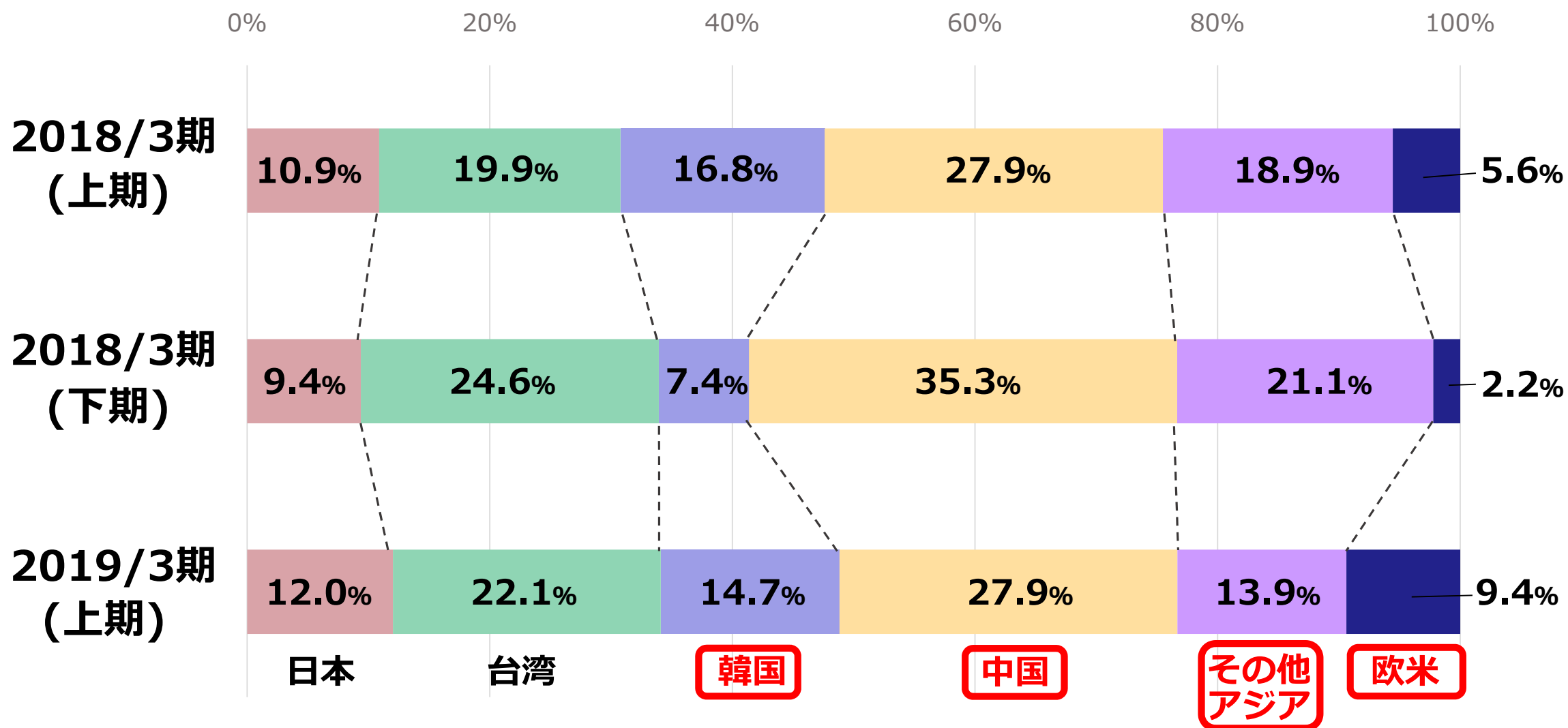
# 受注・売上高の推移

(単位：億円)

■ 売上高 ■ 受注高



# 地域別売上構成比率推移（仕向地ベース）



# 2019年3月期 第2四半期セグメント別売上高（前年比）

（単位：億円）

	2018/3期 2Q実績	2019/3期 2Q実績	増減額	前年比
売上高	156.0	152.9	▲ 3.1	▲ 2.0%
半導体事業	126.1	116.6	▲ 9.5	▲ 7.5%
化成品事業	6.7	7.4	+ 0.7	+ 10.4%
新事業	23.2	24.8	+ 1.6	+ 6.9%
レーザ加工 装置事業※	-	4.1	+ 4.1	-

※オムロンレーザーフロント社の株式取得により2019/3期 2Qよりセグメントを追加

# 2019年3月期 上期トピック

販売

生産

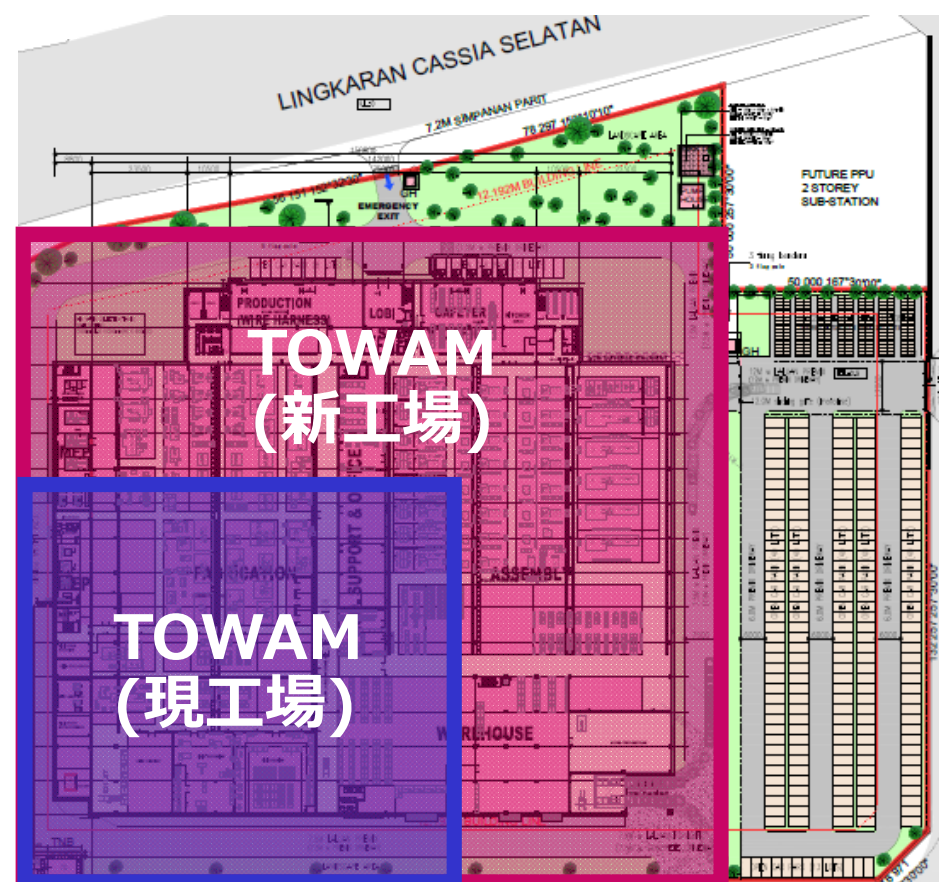
開発

新事業

## マレーシアにTOWAM新工場の建設を発表

延べ床面積は現工場の3倍で当社最大規模の工場に!!

### TOWAM新工場



延床面積	26,015㎡(土地面積 : 36,421㎡)
竣工予定	2019年8月
投資金額 ※建物のみ	76,550千マレーシアリングgit (約2,092百万円)

# 2019年3月期 上期トピック

販売

生産

開発

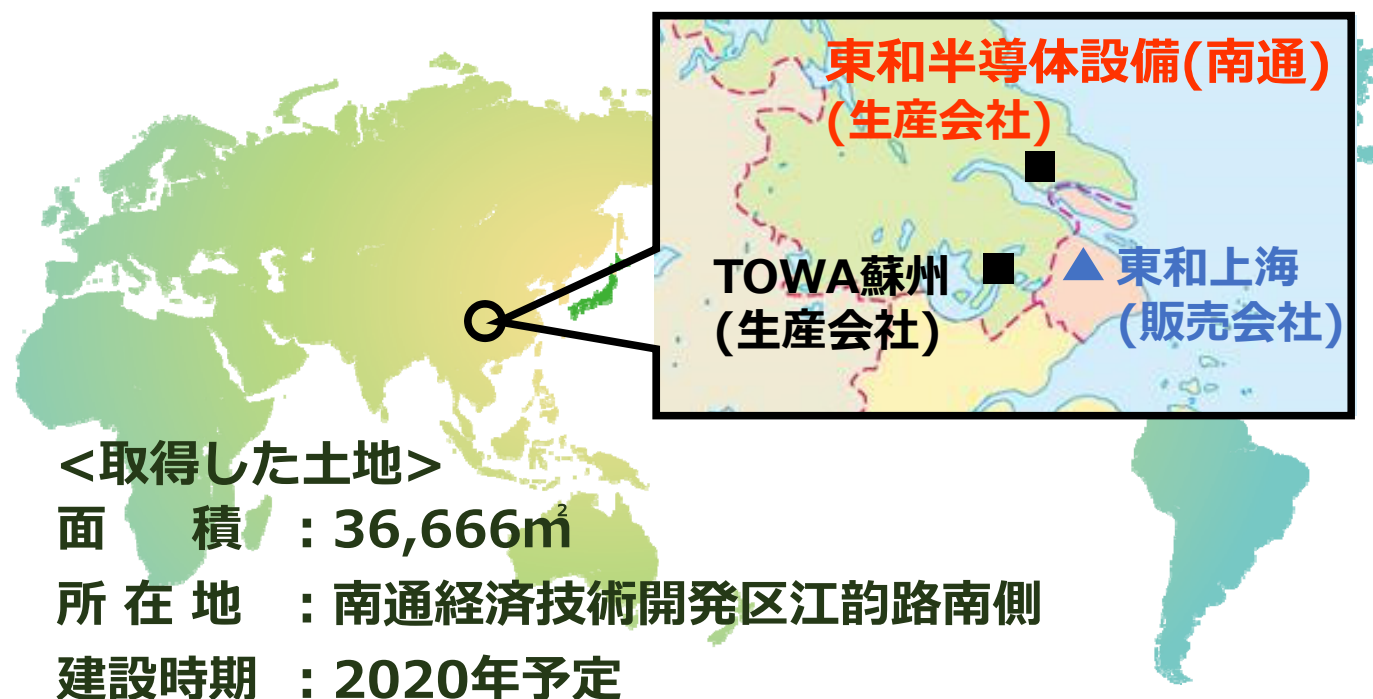
新事業

## 精技電子(南通)有限公司(KINERGY社)より金型製造事業の譲受と事業用土地取得契約を締結

(契約締結日：2018年9月21日)

- ・ モールドイング事業の裾野拡大と競争力強化
- ・ 焼入れ、めっき処理を含めた金型、精密加工品の一貫生産が可能

新会社名	東和半導体設備(南通)有限公司
所在地	中華人民共和国江蘇省南通経済技術開発区中央路62号 精技電子(南通)有限公司工場内
設立日	2018年10月8日 (譲受日：2018年11月1日)
事業内容	半導体製造設備、半導体製造用精密金型、半導体製造設備の関連部品、精密加工部品の生産・販売、設計、技術サービス、アフターサービス
従業員数	約100名



# 2019年3月期 上期トピック

販売

生産

開発

新事業

## オムロンレーザーフロント株式会社の株式を取得(子会社化)

レーザ関連技術と半導体製造の後工程技術を融合し新たな市場への取組みを目指す

新名称	TOWAレーザーフロント株式会社
所在地	神奈川県相模原市中央区下九沢 1120番地
事業開始年月日	2004年4月1日
事業内容	レーザ及びレーザ加工装置の開発・設計・製造・販売・保守
従業員数	76名
株式取得日	2018年8月1日

主な製品		
レーザトリマ	ウェハマーカ	レーザ溶接機
 	 	 

## 本日の主な説明内容

1. 2019年3月期 上期実績
2. **2019年3月期 通期見込**
3. 2019年3月期 下期取組み



# 2019年3月期 通期 連結業績予想（修正）

（単位：億円）

	期初計画	修正予想 (10/29公表)	増減額	計画比
売上高	335.0	313.0	▲ 22.0	▲ 6.6%
営業利益	40.0	19.0	▲ 21.0	▲ 52.5%
経常利益	40.0	20.0	▲ 20.0	▲ 50.0%
当期純利益	29.0	16.0	▲ 13.0	▲ 44.8%

※当期純利益 = 親会社株主に帰属する当期純利益

# 2019年3月期 セグメント別売上高計画（修正）

（単位：億円）

	期初計画	修正予想 (10/29公表)	増減額	前年比
売上高	335.0	313.0	▲ 22.0	▲ 6.6%
半導体事業	264.0	226.8	▲ 37.2	▲ 14.1%
化成品事業	15.5	14.7	▲ 0.8	▲ 5.2%
新事業	55.5	54.9	▲ 0.6	▲ 1.1%
レーザ加工 装置事業※	-	16.6	+ 16.6	-

※オムロンレーザーフロント社の株式取得により2019/3期 2Qよりセグメントを追加

# 2019年3月期 配当計画

	期初計画 (5/10公表)	修正予想 (10/29公表)
期末配当	16.0 円	16.0 円

※配当方針「安定・継続配当」に基づき、16.0円に変更なし。  
なお、中間配当は見送りとさせていただきます。

## 本日の主な説明内容

1. 2019年3月期 上期実績
2. 2019年3月期 通期見込
3. 2019年3月期 **下期取組み**

## 2019年3月期 下期取組み

### 戦略

**市場環境の悪化を好機と捉え事業基盤の強化による利益率の改善を行う**

- モールディング装置のプラットフォーム化によるコストダウン
- 中国新会社設立によるモールディング事業の裾野拡大と売上規模の拡大
- 新事業、TSS拡大による安定的な収益源の確保

# 2019年3月期 下期取組み

販売 生産

開発 新事業

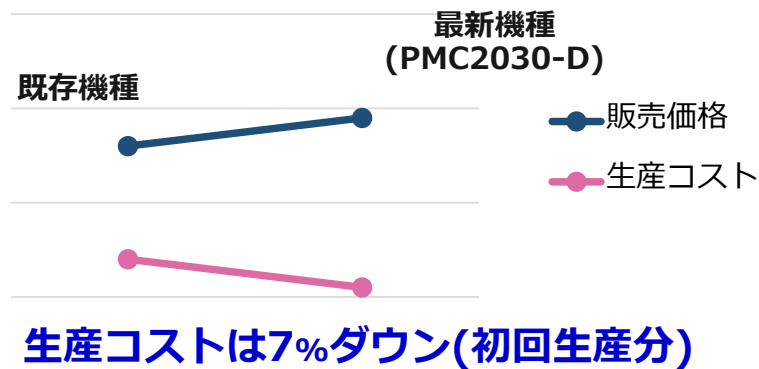
## ユーザーオプションをプラットフォーム (標準機能)に組み込み

### コンプレッション装置

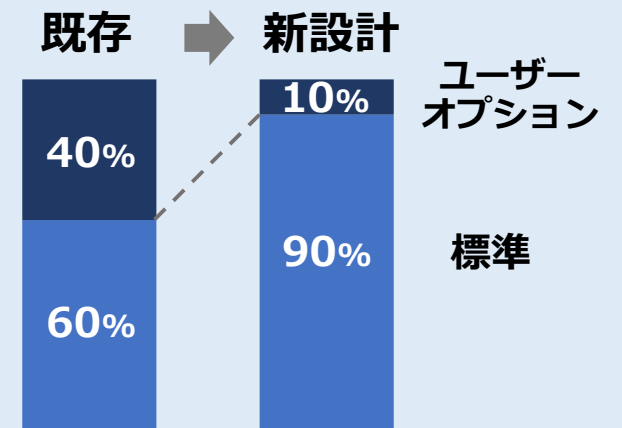
#### 最新機種(PMC2030-D)より適用済み



厚み精度UP、クリーン化、生産性向上により付加価値は約1.5倍



- 部品コストの削減
- 生産効率アップ(納期短縮)



⇒ 1年後売上分より生産コストを約**15%**削減予定

# 2019年3月期 下期取組み

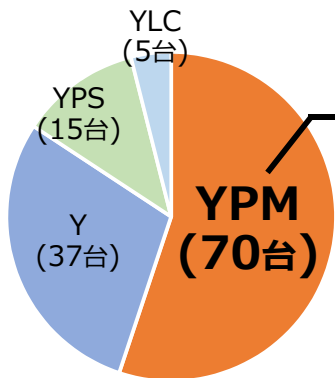


## ユーザーオプションをプラットフォーム (標準機能)に組み込み

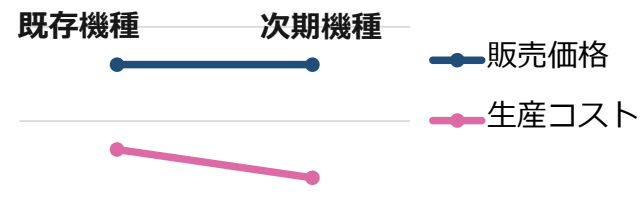
### トランスファ装置

### 主力製品(YPMシリーズ)へ展開

トランスファ装置の売上構成  
(2018年3月期実績)

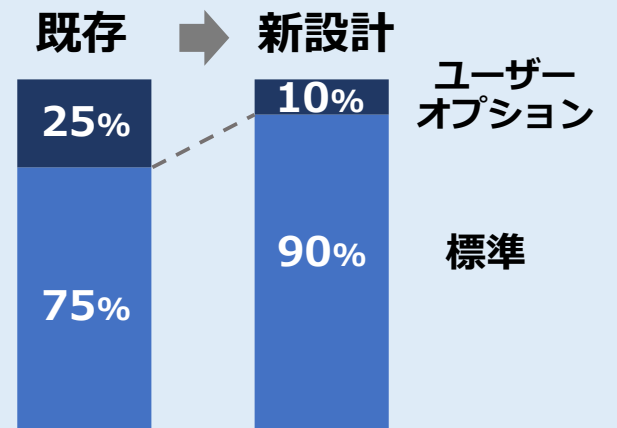


クリーン化対応、プレス高精度化、  
短納期対応により価格を維持



生産コストは6%ダウン  
(2019年4月受注分より)

- 部品コストの削減
- 生産効率アップ(納期短縮)



⇒ 1年後売上分より生産コストを約**10%**削減予定

# 2019年3月期 下期取組み

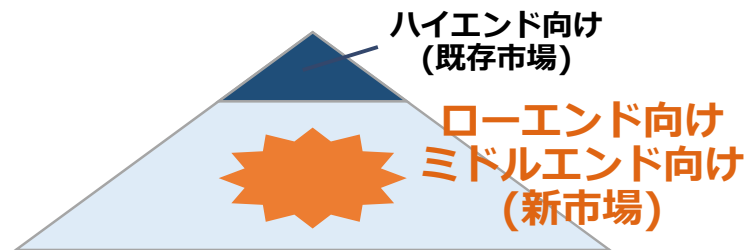
販売 生産

開発 新事業

## 中国新会社設立によるモールディング事業の裾野拡大と売上規模の拡大

### 新会社を含めた中国3拠点体制による新たな取り組みを開始

- 東和南通での金型現地生産による新市場への参入
- ローエンド、ミドルエンド向けトランスファ金型・装置の拡販による市場シェアの拡大
- TOWA蘇州のLABOを活用した新規顧客の開拓

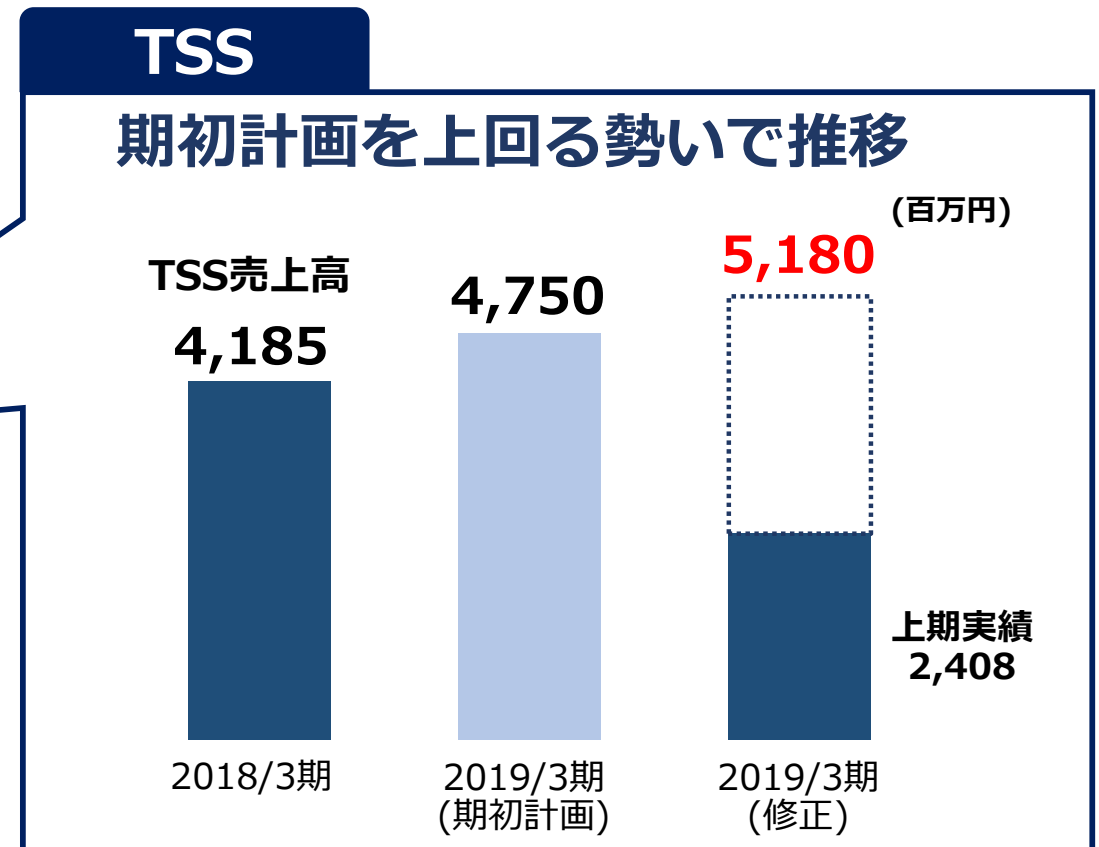
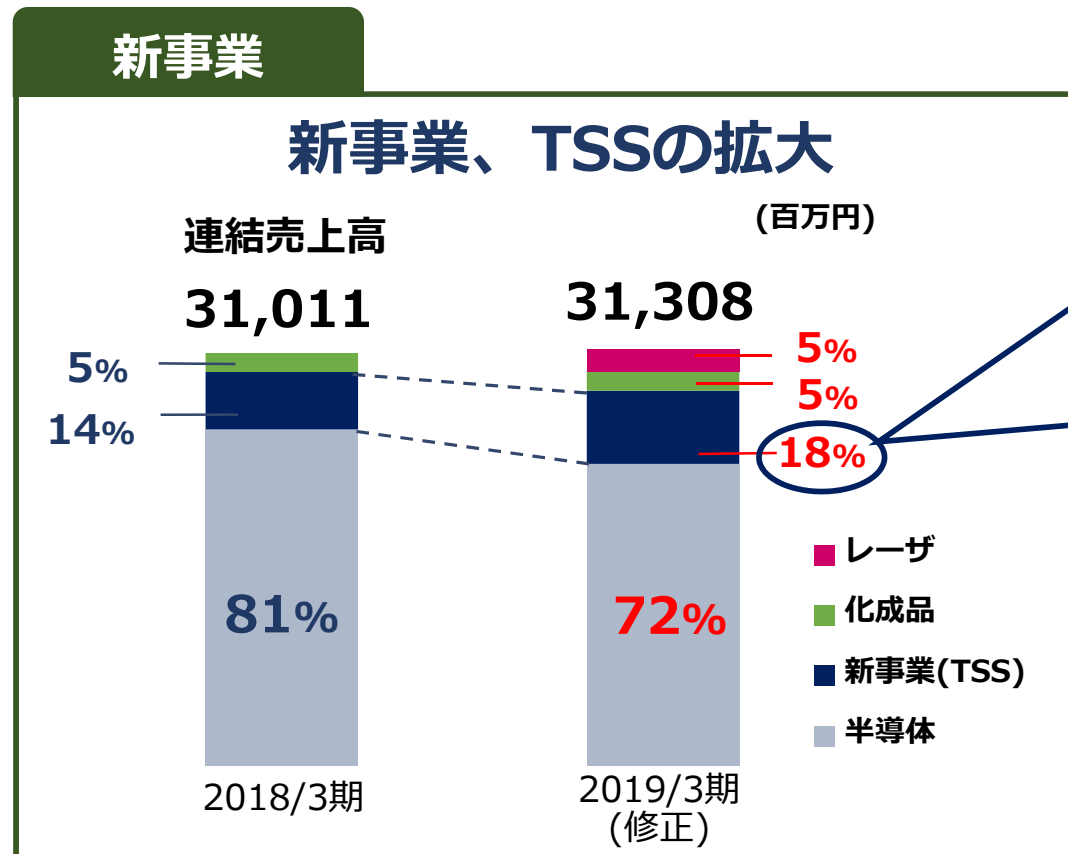




# 2019年3月期 下期取組み



## 新事業、TSS拡大による安定的な収益源の確保



# 2019年3月期 下期取組み

販売

生産

開発

新事業

## 台湾でプライベートショーを開催!!

新製品やPLP、WLPを中心に市場・顧客動向を確認



The banner features the TOWA logo and the text "Private Show 2018". To the left, there is a graphic with the Japanese characters "凝集" (Kōshū) and "Cohesive Team" above it, and "Reliable & Trustworthy" below it. Below the banner are two photographs showing the interior of the exhibition hall with attendees and displays.

日程

2018年10月3日～  
2018年10月9日

場所

大台中國際會展中心

展示内容

PMC2030  
CPM1080  
YPM1080-SP  
FMS3040 他パネル展示等

来場者数

台湾大手ファンドリー、  
OSAT各社、研究機関等  
合計 54社(215名)

# 2019年3月期 下期取組み

販売

生産

開発

新事業

## 本社プライベートショーを開催!!

# 挑戦と飛躍

ものづくり革命に挑む



日程

2018年12月3日～2019年1月31日

場所

本社・工場

展示  
内容

CPM1180 / CPM1200  
PMC2030 / YPM1080-EP  
YPM1080-SP / YPM1180  
次世代トランスファ装置  
FMS3040  
金型レーザークリーニング  
レーザー加工装置 他パネル展示等

# 世界のモールドプロセスをTOWAに!!



TOWA 10年ビジョン

ものづくり企業の真価に挑む

《本資料に関するお問合せ》TOWA株式会社 企画部  
〒601-8105 京都市南区上鳥羽上調子町5番地 Tel : 075-692-0251

本資料には当社グループの計画や方針、財務、技術、製品、サービス、業績等に係る将来予想に関する記述が含まれております。将来予想に関する記述は、あくまで当社グループが現時点において入手可能なデータや仮定、方法等に基づき、当社グループが判断したものであり、様々なリスクや不確定な要因を含んでおります。また、新たなリスクや不確定要因は随時生じるものであり、その発生や影響を予測することは不可能であります。したがって、本資料に含まれる将来に関する記述は、実際の結果とは大きく異なる可能性があることをあらかじめご了承ください。